

49. 歴史的資源の活用と古民家再生でつなぐ持続可能なまちづくり支援

(岐阜県美濃市)

タイトル	歴史的資源の活用と古民家再生でつなぐ持続可能なまちづくり支援
銀行名	株式会社十六銀行
取り組みに至った経緯等	<p>岐阜県美濃市は、ユネスコ無形文化遺産の「本美濃紙」の手すき技術で有名。また、「うだつの上がる町並み」で知られる市街地は、国の重要伝統的建造物群保存地区にも選ばれている。一方、同市は、歴史的資源の次世代への継承と、それらを活かした観光開発が課題。</p> <p>そこで、行政の美濃市、古民家再生ノウハウを有する事業者と地場事業者が共同出資して設立した「みのまちや」、地元金融機関である当行が中心となり、美濃の歴史的資源を未来に繋ぐ目的のもと、古民家再生事業を開始することとなった。</p>
具体的な取組内容	<p>① 古民家を美濃和紙でしつらえるなど地元の魅力が堪能できる宿泊施設にリノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃市が空き家となっていた古民家を提供し、みのまちやが「NIPPONIA ホテル」2棟とシェアオフィス「WASITA MINO」にリノベーション。観光需要の創出に向け、ハード面を整備。 <p>② 銀行のネットワークを活かして事業者を美濃市に紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当行は、銀行ネットワークを活かし、魅力・認知度向上策を提供できる事業者として、「H I S」と「キッチハイク」を美濃市に紹介。 ・H I Sは、美濃市に出向者を派遣して観光施策を立案し、美濃市に特化した旅行プランを作成。 ・キッチハイクは、保育園留学*という独自のサービスを提供。大都市圏から美濃市に留学する園児の親に「WASITA MINO」をコワーキングスペースとして提供することで、留学する園児家族の美濃市への長期滞在を可能とした。 ※1～2週間の期間、こどもは保育園に通い、親は働きながら多様な地域に家族で滞在できる、こども主役の暮らし体験。 ・両事業者の施策により、美濃市への誘客・滞在による魅力発信・認知度向上に繋がる体制を構築。 <p>③ 資金繰り安定化のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みのまちやの資金調達は当行が中心となり、まちづくりファンドを活用した多様で効果的なスキームを提案し資金繰りの安定化を図った。 <div data-bbox="502 1523 1364 1780"> </div>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本件事例を皮切りに、「点」ではなく、「面」での開発を加速させ、まち全体で取り組みを行っていくこと ・更なる誘客・滞在に繋がる、魅力発信・認知度向上に取り組むこと。
関連公表資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生 SDGs 国際フォーラム 2024:官民連携優良事例表彰式 (事務局賞事例発表:岐阜県美濃市×株式会社十六銀行) <p>https://youtu.be/MZxImJ17tUc</p>